



KANAGAWA

Peace Mail

神奈川県平和委員会

資料提供ニュース 第126号 11/4/19発行

横浜市中区野毛町2-61
大澤屋ビル4F
TEL/FAX ; 045-231-0103
Mail:mikio-yu@amber.plala.or.jp

米原子力艦船の原子炉の「安全性」見直しを 政府に求めることを横須賀市に要請



横須賀市への申入書を渡す片野原水協理事長
(4/18横須賀市役所)

神奈川県平和委員会と県原水協、新婦人県本部、横須賀の新婦人・原水協、民商、阻止連の代表は、4月18日、横須賀市に、米原子力艦船の「安全性」見直しを、政府に求めるよう要請しました。

対応した鈴木市民安全部長と小貫危機管理課長は、「本日外務省の鯨北米局長が来て、市長と会談。先日外務省に要請した内容について、アメリカ大使館からの書簡を持って、外務省の見解も合わせて伝えに来た」と報告しました。

要請では、「飲料水などの不安が広がり、すでに家庭用の水浄水器の購入などをしてる人もいる。神奈川の水は大丈夫なのか。情報の公開をみんなが分かり易く、タイムリーにすべきだ」など、市民の様子なども話された上で、原子力空母の原子炉は依然「安全神話」が強調されている。「安全性」の見直しを政府に強く求めて欲しいとの要望が参加者から強く出されました。



空母ジョージ・ワシントンには、3月11日、東日本大震災による影響を回避するために、3月21日メンテナンスを中断し、日本近海へと避難し、海上でのメンテナンスを行っていました。今回の横須賀への再入港は、「横須賀において、通常のメンテナンス作業を完了させること」(400米大使館からの書簡)と明言しているように、原子炉推進装置のメンテナンスを完了させることが主要な目的であることは明らかです。



4/13 洋上で火災訓練をする
ジョージ・ワシントン、
4/20 横須賀再入港の予定